

広東省の新エネルギー車産業  
(その1: 広東省政府の関連政策)

はじめに

中国南部の広東省は、改革開放以降、製造業を中心とする産業が発展していった。特に2003年の第10回人民代表大会1次会議において、自動車産業を省の基幹産業と位置付け重点的に発展させていく方針を発表すると、広州市を中心として日系を含む外資の積極的な誘致とともに急速な発展を遂げていった<sup>1</sup>。



図1 広東省地図

(ウィキペディアの広東省の地図<sup>2</sup>を参考に筆者作成)

<sup>1</sup> 樋山健介・川邊信雄編『中国・広東省の自動車産業-日系大手3社の進出した自動車産業集積地-』（早稲田大学産業経営研究所、2011年）参照。

<sup>2</sup> URL:

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BA%83%E6%9D%B1%E7%9C%81#/media/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:China\\_Guangdong.svg](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BA%83%E6%9D%B1%E7%9C%81#/media/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:China_Guangdong.svg)

国家統計局の発表によると、2023 年上半期の広東省の自動車生産台数は省市別で最多となる 231.47 万台であった<sup>3</sup>。広東省は年間生産台数で 2016 年から連続で全国トップ<sup>4</sup>の座を維持し、「汽車（自動車）生産大省」と称される。

ここ数年は新エネルギー車 (NEV)<sup>5</sup> の生産が非常に盛んになっている。NEV の生産台数は、2022 年に広東省がテスラのギガファクトリーを擁する上海市を上回り全国トップとなっている（表 1 参照）。

表 1 全国・広東省の NEV 生産台数（2020～2022）

	2020 年	2021 年	2022 年
全国	145.6	367.7	700.3
広東省	20.87	53.54	129.73
上海市	23.86	63.19	98.86

（単位：万台）

出典：国家統計局「国民経済・社会発展統計公報」（2020～2022）、広東省統計局「広東省統計年鑑」（2021、2022）および「2022 年広東省国民経済・社会発展統計公報」、上海市統計局「上海市統計年鑑」（2020、2021）および「2022 年上海市国民経済・社会発展統計公報」

広東省の NEV 生産台数は、中国全体のそれと軌を一にして急激に増加している。このような広東省の NEV 製造業という新たな産業の発展には、広東省政府および省内の市政府（広州市政府、深圳市政府など）レベルで発せられた NEV 関連政策がその背景にあるが、本レポートでは広東省政府が発表した「広東省自動車戦略性基幹産業クラスター発展行動規画（2021－2025 年）」<sup>6</sup>のポイントをまとめる。

### 広東省自動車戦略性基幹産業クラスター発展行動規画（2021－2025 年）

2020 年 9 月、広東省工業情報化庁、広東省発展改革委員会、広東省科学技術庁、広東省商務庁、広東省市場監督管理局は共同で「広東省自動車戦略性基幹産業クラスター発展行動規画（2021－2025 年）」を発表した。本規画は、現在の広東省の自動車産業、中でも NEV 産業の発展を推進するための最も重要な政策文書のひとつとなっており、これに則った形で研究開発や工場誘致、関連施設の設置等が進められる。

本規画の章立ては、以下の通りとなっている。自動車産業全体の政策文書であるものの、NEV およびインテリジェント・コネクテッド・ビークル (ICV) に関する内容がその多くを占める。

<sup>3</sup> 国家統計局「国家数据」<https://data.stats.gov.cn/easyquery.htm?cn=E0101>（2023 年 8 月 22 日閲覧）

<sup>4</sup> 国家統計局編『中国統計年鑑』2016～2022 参照。

<sup>5</sup> 中国では、プラグインハイブリッド車 (PHV)、電気自動車 (EV)、燃料電池車 (FCV) を新エネルギー車 (NEV) と定義している。

<sup>6</sup> 広東省人民政府「広東省工業和信息化庁 広東省発展和改革委員会 広東省科学技術庁 広東省商務庁 広東省市場監督管理局關於印發広東省發展汽車戰略性支柱産業集群行動計劃（2021-2025 年）的通知」  
[http://www.gd.gov.cn/zwgk/jhgh/content/post\\_3097824.html](http://www.gd.gov.cn/zwgk/jhgh/content/post_3097824.html)

1. 全体の状況
2. 工作目标
3. 重点任務
4. 重点プロジェクト
5. 保障措施

## 工作目标

本規画における「2. 工作目标」は、以下のとおりである。ここに NEV 関連の 2025 年までに達成されるべき目標も見ることができる。

2. 工作目标
(1)自動車産業の1兆元規模突破—2025年までに、世界レベルの自動車産業クラスターを育成し、広東省の自動車製造業の営業収入1兆1,000億元を突破する。うち自動車部品製造業の営業収入は4,500億元を超える。自動車工業の付加価値は2,000億元を突破。自動車生産台数(年間)は430万台超、全国の自動車生産台数の16%以上を占める。 <b>うち NEV は 60 万台超、NEV 共用充電設備は 15 万基超を目指す。</b>
(2)自動車ブランドの影響力を著しく向上させる。新たに1~2社の自動車完成車の企業を世界トップ500企業リストに入り、3~4社のユニコーン自動車企業を育成し、2~3社の生産販売台数100万台を突破する規模の完成車企業を形成し、自主ブランド自動車の輸出と海外製造基地の建設という大きな発展を実現する。
(3)産業チェーンのマッチングを向上させる。世界レベルの競争力のある重要関連企業を育成。新たに2~3社の100億元クラスの部品リーディング企業を増やし、2~3社の自動車部品ユニコーン企業を育成する。
(4)イノベーションプラットフォームのサポート能力を大きく増強する。自動車産業のエコシステムとイノベーションシステムをより最適化し、イノベーションプラットフォームのサポート能力の顕著に向上させる点を強調し、 <b>NEV と ICV の共通性や先見性のある技術研究におけるブレイクスルーを実現させるため、国家レベルの自動車研究開発・検査のための公共プラットフォームや産業化発展プラットフォームの構築により実質的な進展を図る。</b>

まず NEV の年間 60 万台の生産、共用充電設備 15 万基超という具体的な数値目標が掲げられている。そして NEV の研究開発を重点的に行うためのプラットフォームの構築について言及しているが、その具体的な内容については後述の「4. 重点プロジェクト」で明らかにしている。

## 重点任務

「3. 重点任務」の NEV に関する言及は、以下のとおりである。

3. 重点任務
(1)イノベーション主導を堅持し、最先端の新興自動車技術イノベーションのポジションを先取りする。 <b>従来型自動車の省エネ・ハイブリッドシステム、純電気自動車 (BEV)、水素燃料電池車 (FCV)、ICV の技術イノベーションロードマップを作成し、中長期的な発展目標を明確にする。従来型自動車のパワートレイン、NEV の動力コア部品、燃料電池のシステム及びコア部品、動力バッテリー (電解質、正負極材など) のキー素材、充電施設、スマートカーのスマート端末部品、車載用チップ及びセンサー部品、ソフトウェアエコシステムなどの分野の研究開発を加速し、自動車企業のイノベーション能力を高める。</b>
(2)ブランド強化行動を実施し、世界的に名を馳せるブランドを構築する。 <b>自主ブランド完成車企業によ</b>

<p>り、NEV と ICV に重点を置き、企業がブランド向上とグローバル化戦略を実施するよう指導し、広東省の自動車ブランドの特色ある文化を内包する設計と普及活動を強化し、広汽伝祺 (Trumpchi)、比亞迪 (BYD) などのブランド価値を絶えず向上させる。</p>
<p>(3)産業協力を継続的に深化させ、従来型自動車と NEV の共同発展を堅持する。多国籍自動車企業との戦略的提携を深め、自主ブランド自動車企業の高品質な発展を推進する。NEV の発展ペースを加速し、BYD、Trumpchi、小鵬 (Xpeng) などの市場シェアを高める。廃自動車の分解と自動車動力バッテリーのリサイクル、廃バッテリーのリサイクル処分と固形廃棄物処理システムを確立し、自動車のグリーンリサイクル、部品の再製造、廃バッテリーのリサイクルの段階的な利用を推進する。</p>

NEV のうち、BEV だけでなく FCV、また従来型自動車の省エネ、ハイブリッドと全方位的な技術イノベーションロードマップを作成するとしている。また広東省を本拠とする広汽、BYD、Xpeng といった企業名を挙げ、政府と企業が一体となって戦略的に本規画を推進していく姿勢を見せている。

## 重点プロジェクト

「4. 重点プロジェクト」の NEV 関連の記述は以下のとおりである。

<p><b>4. 重点プロジェクト</b></p>
<p>(1)イノベーション能力強化プロジェクト</p>
<p>2.革新的な公共サービスプラットフォームを建設する。NEV の完成車及び重要部品のイノベーションプラットフォームの建設を推進し、世界的に自動車専門技術を導入するコンサルティングサービス型企業に向けて、技術、管理、インフラ施設、人材陣などの内容をカバーする自動車技術サービスシステムを構築する。国家 NEV 動力バッテリー・電気駆動システム品質監督検査センター (広東)、国家自動車電子製品品質監督検査センター、国家 NEV 品質監督検査センター (広州) の建設をサポートし、NEV の核心部品の検査、研究開発中試験、標準の制定・改正及び産業インキュベーション公共技術サービスプラットフォームを構築する。</p>
<p>(2)産業チェーン高度化プロジェクト</p>
<p>2.NEV 及び ICV 産業チェーンを発展、拡大させる NEV・ICV 部品産業集積区を建設する。電子情報及び新エネルギー分野の企業と完成車企業の合弁協力を奨励し、技術協力による難関攻略を強化し、動力バッテリー、電機、制御システム、高性能車載用チップなどの重要な核心技術の自主化と産業化を推進する。</p>
<p>3.FCV の研究開発の難関攻略及び産業化を大いに推進する。燃料電池システム及びコア部品の技術上の難関攻略、エンジニアリング研究と製品開発をサポートする。先進的な FCV の導入と開発をサポートし、広州、仏山、雲浮、茂名市の FCV 産業化基地の建設を推進する。</p>
<p>4.現代的な自動車サービス業を強化・拡大する。自動車金融サービスのアップグレードを加速し、カーシェアリング、電力バッテリーの融資とリース、現代物流の発展を促進する。廃棄自動車のリサイクル・解体企業の技術向上と大規模化を促進し、自動車部品再生産業の発展を促進する</p>
<p>(3)ブランド品質向上プロジェクト</p>
<p>1.国際的に先頭を走る企業を育成する。広東省の自動車重点企業の従来型自動車分野における主導的地位を固め、既存の車種のモデルチェンジとハイエンド車種の開発を加速させ、BYD、広汽新能源<sup>7</sup>、Xpeng などの企業が NEV と ICV 分野でより強くより大きくなるようサポートし、比較的強い国際競争力を有する多国籍企業を作りあげることを支援する。技術上のイノベーションの強みを持つ部品企業、スマートモビリティなどの企業を育成し、ユニコーン企業に成長させる。</p>

<sup>7</sup> 本規画の発表後、2020年11月に広汽新能源は広汽埃安に社名を変更した。

2.自動車品質向上計画を実施する。従来型自動車・NEV の完成車メーカー及び重要部品企業の技術アップグレードとインテリジェント化を支援し、製品の品質の一貫性と技術レベルを高める。企業が品質改善計画を実施するよう指導し、自動車品質の動態評価システムと重大品質・安全事故通報メカニズムを構築する。動力バッテリーのコード番号化制度を普及させ、安全で制御可能な重要部品の品質制御とトレーサビリティメカニズムを確立する。
3.自動車標準システムを健全に整備する。BEV、FCV、ICV などの重点分野の標準化を推進し、新たなブレークスルーを実現し、市場の需要に適應して基準をタイムリーに更新する。広州の ICV 道路試験及びモデル応用技術基準の制定を支援する。企業が国際的、国家級また業界標準の制度改正に積極的に参加することを支持し、中堅企業、関係部門及び専門家が国際標準機構の職務を担うことを奨励する。
(4)NEV 及び ICV 普及応用プロジェクト
1.NEV の使用を積極的に誘導する。NEV 専用ナンバープレート制度を全面的に実施し、仏山、雲浮などの FCV 商業運営モデル区の建設を推進する。全省の範囲内の公務、バス、市政、物流、賃貸、環衛、倉庫、鉱山、空港、港などの分野の新エネルギー化を推進する。便利、高効率、適度に進んだ集中型充電ステーション、公共充電施設ネットワークシステムと合理的な水素充填施設を建設し、NEV ビッグデータ監視プラットフォームを構築し、NEV の普及・応用支援政策システムを完備させる。

(1)2. では、「国家 NEV 動力バッテリー・電気駆動システム品質監督検査センター（広東）」、「国家自動車電子製品品質監督検査センター」及び「国家 NEV 品質監督検査センター（広州）」という公共サービスプラットフォームの建設が打ち出されている。広東省政府は、これらのプラットフォームの活用で効率的な研究開発を目論んでいる。

FCV に関する具体的な政策として、(2)3. で広州、仏山、雲浮、茂名の各市で FCV 産業化基地が建設され、燃料電池システムや FCV のコア部品の研究開発が行われることが明記されており、(4)1. では普及・応用プロジェクトとして、仏山、雲浮で FCV 商業運営モデル区を建設するとしている。

## まとめ

「広東省自動車戦略性基幹産業クラスター発展行動規画（2021－2025 年）」は 2025 年までの広東省の自動車産業、特に NEV 産業の方向性、位置づけを明確にし、「汽車生産大省」また「NEV 大省」としての地位をさらに確固としたものにする内容となっている。

（次号では、広州市、深圳市をはじめとした広東省内の各市の NEV 関連政策等について論ずる）

（石川 晶）